

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 獨協大学
理事長 寺野 章

獨協医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	77人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	522人	35人	526.4人	看護補助者	72人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	20人	2人	20.4人	理学療法士	14人	臨床検査技師	85人
薬剤師	62人	0人	62.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	41人	0人	41.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	906人	87人	974.4人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	3人	3人	5.6人	栄養士	14人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	1人	事務職員	235人
管理栄養士	19人	0人	19.0人	診療放射線技師	62人	その他の職員	73人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	986.2人	19.5人	1,005.7人
1日当たり平均外来患者数	2,098.3人	99.4人	2,197.7人
1日当たり平均調剤数	4,071.0剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	16人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	8人
前眼部三次元画像解析	60人
最小侵襲椎体椎間板搔爬洗浄術	2人
多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療	1人
硬膜外自家血注入療法	1人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
急性心筋梗塞に対するエポエチンベータ投与療法	2人
ボルテゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法	6人
解離性大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術	10人
慢性心不全に対する和温療法	12人

(注1)「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡的胆管結石除去術	取扱患者数	108人
当該医療技術の概要 総胆管結石症に対して結石を除去するために行う内視鏡治療			
医療技術名	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 肝臓癌に対して超音波ガイド下に穿刺し電氣的に焼灼、壊死に至らしめる治療			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する血球成分除去治療	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 活動期潰瘍性大腸炎やクローン病患者に対する顆粒球や白血球成分除去療法			
医療技術名	クローン病に対するダブルバルーン小腸内視鏡	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 ダブルバルーン小腸内視鏡を用いてクローン病の診断や狭窄部治療、治療効果判定を行う			
医療技術名	劇症肝炎に対する血液浄化療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 劇症肝炎患者に対して行う血漿交換や血液濾過透析療法			
医療技術名	重症肺炎に対する動注療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 重症急性肺炎に対する集中治療としての動脈内薬物注入療法			
医療技術名	同種造血幹細胞移植	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 骨髄不全症、骨髄異型成症候群の難治例に実施した			
医療技術名		取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 20 channel 脳電図LORETA解析による前頭葉機能障害の判定、治療			
医療技術名	光干渉断層法(OCT)を用いた冠動脈プラーク診断と冠血管形成術	取扱患者数	29人
当該医療技術の概要 光干渉断層法(OCT)により冠動脈プラークの組織性状を診断し、その結果によりバルーン・ステントを選択し、冠血管形成術を行う。こうした方法により冠血管形成術の合併症を予防し、長期予後改善が期待出来る。			
医療技術名	血管内視鏡を用いたステント内新生内膜の観察	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 血管内視鏡はステント留置後の新生内膜の性状を直視し、正確に観察することが可能であり、冠血管形成術後の予後予測に重要である。			
医療技術名	IVUSを用いた冠動脈形成術	取扱患者数	285人
当該医療技術の概要 現在IVUSは冠動脈形成術の適応治療戦略決定、至適終了点決定に必須なモダリティである。特に我々の使用するバーチャルヒストロジーIVUSは冠動脈形成術後の予後予測に有用である。			
医療技術名	肺動脈バルーン拡張術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 慢性血拴塞栓性肺高血圧症は、一部の手術可能例以外は根本的な治療もなく、難治性疾患とされてきた。経皮的肺動脈バルーン拡張術は手術可能例以外にも有効な治療である。			
医療技術名	埋込型除細動器移植術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 自動的に致死性心室性頻拍を感知し高頻度刺激やショックパルスを発生し除細動を行う装置を体内に埋め込むもの。			
医療技術名	血管内超音波検査	取扱患者数	228人
当該医療技術 冠動脈の動脈硬化(石灰化、アテローム硬化、血栓の有無)などについて詳細な評価を行う。			
医療技術名	経皮的冠動脈血拴吸引術	取扱患者数	101人
当該医療技術の概要 冠動脈内の血拴に対して吸引カテーテル(レスキュー、スロンバスター、パークサージ)にて血拴を吸引除去するもの。			

医療技術名	血漿交換療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 劇症肝炎やギラン・バレー症候群における障害因子を除去するために体外循環を行い血漿を濾過置換する。			
医療技術名	血液吸着療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 膠原病において自己免疫性の障害因子を除去するために体外循環によるカラム吸着療法を行う。 その他、LDL吸着やエンドトキシン吸着などがある。			
医療技術名	心室再同期療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 冠静脈洞および右室にペースメーカーリードを挿入し、左右心室を同時に刺激するペースメーカー装置を体内に埋め込むもの			
医療技術名	自家蛍光および狭帯域光による気管視鏡検査	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 自家蛍光観察および狭帯域光観察による気管視鏡検査で、早期肺癌の発見と治療効果確認を行い、肺癌の診療の向上と気管支鏡的治療を行っている			
医療技術名	食道癌に対する胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 食道癌に対して胸腔鏡を用いて手術を行う。体壁破壊の大幅な減少による、術後回復の促進が期待できる。			
医療技術名	食道癌に対するDCF併用化学放射線療法	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 近年、食道癌に対する高い効果が認められているDocetaxel、Cisplatin、5-FU療法に放射線を加えることによって、高い奏高率を得ることを目的としている。			
医療技術名	高度進行胃癌に対するDCS併用化学療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 切除不能な進行胃癌に対してDocetaxel、Cisplatin、S-1に寄る化学療法を行う。その高い腫瘍縮小効果によって手術可能となり、結果的に生存延長が期待できる。			
医療技術名	局所進行直腸癌に対する術前化学放射線療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 局所進行直腸癌に対して術前に化学放射線療法を加えることにより、腫瘍の縮小を得るだけでなく、人工肛門にせざるを得ない症例でも、それを回避することができる。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	108人	・膿疱性乾癬	22人
・多発性硬化症	77人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	80人	・原発性胆汁性肝硬変	30人
・全身性エリテマトーデス	277人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	49人
・再生不良性貧血	33人	・混合性結合組織病	40人
・サルコイドーシス	127人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	41人	・特発性間質性肺炎	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	287人	・網膜色素変性症	34人
・特発性血小板減少性紫斑病	118人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	46人	・肺動脈性肺高血圧症	21人
・潰瘍性大腸炎	382人	・神経線維腫症	25人
・大動脈炎症候群	16人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓性肺高血圧症	20人
・脊髄小脳変性症	48人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	146人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	271人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	18人
・後縦靭帯骨化症	63人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	36人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェグナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	4人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	137人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	45人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	92人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	・
・前眼部三次元画像解析	・
・末梢血単核球移植による血管再生治療	・
・IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の評価	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量	・
・急性心筋梗塞に対するエボエジンベータ投与療法 急性心筋梗塞(再灌流療法の成功したものに限る。)	・
・慢性心不全に対する和温療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	○1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に1回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 49 例 / 部検率 9.20%

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

*H24年度 採択者一覧(臨床部門・医大のみ) (千円)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
各種薬剤溶出性ステント術後の傷害血管修復機転に関する研究	井上 晃男	内科学(心臓・血管)	500	補委 日本学術振興会
RUNX1失活型白血病モデルマウスにおける骨髓微小環境の解析とニッチ因子の同定	中村 由香	内科学(血液・腫瘍)	1,300	補委 日本学術振興会
AMPキナーゼによるアルドステロン誘導性血管障害の抑制機序の解明	長田 太助	内科学(循環器・腎臓)	800	補委 日本学術振興会
レム睡眠行動異常症におけるドーパミン神経機能の経年変化	宮本 雅之	内科学(神経)	2,300	補委 日本学術振興会
QT間隔異常を引き起こす因子を通じた統合失調症病態の理解と治療・予防への展開	藤井 久彌子	精神神経医学	1,400	補委 日本学術振興会
高齢者社会における前立腺癌診療:MR技術による治療選択支援システムの構築と普及	楯 靖	放射線医学	500	補委 日本学術振興会
Adiposity reboundに着目した小児肥満症の早期介入に関する研究	有阪 治	小児科学	700	補委 日本学術振興会
小児白血病融合転写因子の白血球化と傍白血球症状を呈する下流遺伝子の同定	黒澤 秀光	小児科学	1,100	補委 日本学術振興会
リアルタイム知的画像処理・拡張現実技術に基づく手術ナビゲーションシステムの構築	下田 貢	第二外科学	1,700	補委 日本学術振興会
血管細胞における力学応答の分子バイオメカニクス	安藤 譲二	整形外科学	14,000	補委 日本学術振興会
膀胱収縮に対する尿路上皮のRHO/ROCK, NOの相互作用とムスカリンサブタイプ	山西 友典	泌尿器科学	700	補委 日本学術振興会
尿中バイオマーカーによる前立腺癌診断および再発再燃予測	深堀 能立	泌尿器科学	500	補委 日本学術振興会
気道リモデリングの嗅粘膜障害への関与—好酸球性副鼻腔炎の嗅粘膜分泌異常の解明—	春名 真一	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,600	補委 日本学術振興会
全身麻酔薬が脊髄サブスタンスP放出とC-FOS発現に与える影響	高薄 敏史	麻酔科学	1,700	補委 日本学術振興会
脊髄ニューロンの定量的評価を用いた神経移行術の実験的研究	荻野 和仁	形成外科学	600	補委 日本学術振興会
液体への浸漬により虚血組織・臓器の酸素化をはかる実験的研究	佐々木京子	形成外科学	800	補委 日本学術振興会
自家脂肪幹細胞皮下注入による発毛治療に関する実験的研究	沖 正直	形成外科学	700	補委 日本学術振興会
18FコリンPETを中心とする複合的分子イメージングによる前立腺癌診断の検討	坂本 播	PETセンター	800	補委 日本学術振興会
原発性肝癌に対する陽子線と炭素イオン線の無作為比較試験	村上 昌雄	放射線治療センター	3,600	補委 日本学術振興会
治験の実施に関する研究[自家培養表皮]	朝戸 裕貴	形成外科学	800	補委 厚生労働省
石綿関連疾患の診断基準及び手法に関する調査研究	荒川 浩明	放射線医学	代表者一括計上	補委 厚生労働省
性分化疾患の実態把握と病態解明ならびに標準的診断・治療指針の作成	有阪 治	小児科学	500	補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	有阪 治	小児科学	300	補委 厚生労働省
HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究	大島 教子	産科婦人科学	1,000	補委 厚生労働省
バイオマーカーに基づいた肺癌個別化治療における分子標的治療薬の最適治療法を検証するランダム化第Ⅲ相比較試験	石井 芳樹	内科学(呼吸器・アレルギー)	300	補委 厚生労働省
大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬:牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験(第Ⅲ相試験)	加藤 広行	第一外科学	代表者一括計上	補委 厚生労働省
急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究	菊地 研	内科学(心臓・血管)	代表者一括計上	補委 厚生労働省
動脈硬化の多角的評価による脳卒中個別化治療開発に関する研究	竹川 英宏	内科学(神経)	400	補委 厚生労働省
食道がん化学放射線療法後局所再発再発例に対するクラバルフイリンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力学的療法多施設第Ⅰ/Ⅱ相試験	中村 哲也	医療情報センター	800	補委 厚生労働省

睡眠薬の適正使用及び減量・中止のための診療ガイドラインに関する研究	宮本 雅之	内科学（神経）	200	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	野原 裕	整形外科	500	補委	厚生労働省
NSAIDs 過敏気道疾患の病因、発症機序解明とガイドライン作成に関する研究	春名 眞一	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	500	補委	厚生労働省
好酸球性副鼻腔炎の診断基準作成と網羅的解析に関する研究	春名 眞一	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	400	補委	厚生労働省
「痛み」に関する教育と情報提供システムの構築に関する研究	平田 幸一	内科学（神経）	代表者一括計上	補委	厚生労働省
RSウイルス気道感染予防によるアトピー型気管支喘息の発症抑制効果に関する研究	吉原 重美	小児科学	代表者一括計上	補委	厚生労働省
食物アレルギーにおける経口免疫療法の確立と治療メカニズムの解明に関する研究	吉原 重美	小児科学	代表者一括計上	補委	厚生労働省
分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発	植木 敬介	腫瘍センター	1,000	補委	文部科学省

計 37 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurological sciences	Cardioembolic stroke due to isolated left ventricular non-compaction.	Asakawa Y, Takekawa H, Suzuki K, Toyoda S, Inoue	心臓・血管内科
Journal of Cardiology	Cardioprotective effects of low-dose combination therapy with a statin and an angiotensin receptor blocker in a rat myocardial infarction model.	Sohma R, Inoue T, Abe S, Taguchi I, Kikuchi M, Toyoda S, Arikawa T, Hikichi Y, Sanada S, Asanuma H, Kitakaze M, Node K.	心臓・血管内科
Circulation journal	Guidelines for Secondary Prevention of Myocardial Infarction (JCS 2011).	Adachi H, Hayashi T, Inoue T, Ishihara M, Ishii H, Iso H, Ito M, Kanamasa K, Kimura K, Miyazaki S, Mizuno K, Nagao K, Nakamura Y, Nohara R, Okumura K, Saito Y, Sakamoto T, Saku K, Sasaki J, Tanaka K, Tsutsui H (JCS Joint Working	心臓・血管内科
Cardiovascular pathology	Pathological features of in-stent restenosis after sirolimus-eluting stent versus bare metal stent placement.	Abe S, Yoneda S, Kanaya T, Oda K, Nishino S, Kageyama M, Taguchi I, Masawa	心臓・血管内科
International journal of cardiology	Predictive value of high-molecular weight adiponectin in subjects with a higher risk of the development of metabolic syndrome: from a population based 5-year follow-up data.	Kotooka N, Komatsu A, Takahashi H, Nonaka M, Kawaguchi C, Komoda H, Asaka M,	心臓・血管内科
Journal of cardiovascular pharmacology and therapeutics	Protective effect of K201 on isoproterenol-induced and ischemic-reperfusion-induced ventricular arrhythmias in the rat: comparison with diltiazem.	Otani N, Matsuda R, Oda K, Nishino S, Inoue T, Kaneko N	心臓・血管内科
International journal of cardiology	Rationale and design of a study to evaluate effects of pitavastatin on Japanese patients with chronic heart failure The pitavastatin heart failure study (PEARL study).	Mizuma H, Inoue T, Takano H, Shindo S, Oka T, Fujimatsu D, Kuwabara Y, Node K, Komuro I; On behalf of the PEARL Study Investigators	心臓・血管内科
Dokkyo Journal of Medical Sciences	イルベサルタンの糖・脂質パラメーターに対する効果	高野和彦	心臓・血管内科
Dokkyo Journal of Medical Sciences	冠動脈疾患患者における血漿エイコサペンタエン酸/アラキドン酸比の男女差の検討	北川善之	心臓・血管内科
Gastroenterol	Lansoprazole for secondary prevention of gastric or duodenal ulcers associated with long-term non-steroidal anti-inflammatory drug (NSAID) therapy: results of a prospective, multicenter, double-blind, randomized, double-dummy, active-controlled trial.	Sugano K, Kontani T, Katsuo S, Takei Y, Sakaki N, Ashida K, Mizokami Y, Asaka M, Matsui S, Kanto T, Soen S, Takeuchi T, Hiraishi H, Hiramatsu N	消化器内科
Hepatogastroenterology	The usefulness of measuring liver stiffness by transient elastography for assessing hepatic fibrosis in patients with various chronic liver diseases.	Tamano M, Kojima K, Akima T, Murohisa T, Hashimoto T, Uetake C, Sugaya T, Nakano M, Hiraishi	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin J Gastroenterol	Frequency of nonsteroidal anti-inflammatory drug-associated ulcers	Hideyuki Hiraishi, Ryo Oki, Kohei Tsutida, Naoto Yoshitake, Keiichi Tominaga, Koji Kouji, Takashi Hashimoto, Mitsunori Maeda, Takako Sasai, Tadasu Shimada	消化器内科
Dokkyo Journal of Medical Sciences	FDG-PET/CTにおける空腸・回腸への集積例の検討	菅谷 武史	消化器内科
潰瘍	抗血小板療法継続中に発症した消化性潰瘍出血症例の臨床的検討	笹井 貴子, 菅家 一成, 中野 正和, 土田 幸平, 吉竹 直人, 星野 美奈, 星野 孝文, 前田 光徳, 寺野 彰, 平石 秀幸	消化器内科
Progress of Digestive Endoscopy	拍動性出血を来した十二指腸GISTの1例.	星野 敦, 富永 圭一, 山本 義光, 小池 健郎, 石川 潤, 滝川 穰, 平石 秀幸	消化器内科
日本消化器病学会雑誌	本邦におけるNAFLD fibrosis scoreの有用性について	中野 正和, 室久 俊光, 今井 康雄, 平石 秀幸	消化器内科
Clin Exp Hypertens	Assessment on antihypertensive effect and safety of nifedipine controlled-release tablet administered at 80 mg/day in practical clinic	Kobayashi N, Ishimitsu T	循環器・腎臓内科
J Atheroscler Thromb	Cardioprotective effect of a combination of Rho-kinase inhibitor and p38 MAPK inhibitor on cardiovascular remodeling and oxidative stress in Dahl rats	Takeshima H, Kobayashi N, Koguchi W, Ishikawa M, Sugiyama F, Ishimitsu T	循環器・腎臓内科
Circ J	Cardioprotective effect of apelin-13 on cardiac performance and remodeling in end-stage heart failure	Koguchi W, Kobayashi N, Takeshima H, Ishikawa M,	循環器・腎臓内科
Heart	The effect of glycosylation on plasma N-terminal proBNP-76 levels in patients with heart or renal failure.	Nishikimi T, Ikeda M, Takeda Y, Ishimitsu T, Shibasaki I, Fukuda H, Kinoshita H, Nakagawa Y, Kuwahara K, Nakao	循環器・腎臓内科
血圧	高血圧患者におけるジヒドロピリジン系Ca拮抗薬のサブクラス効果に関する研究	石光俊彦, 大野絵里, 須藤泰代, 長田太助, 益田俊英, 赤	循環器・腎臓内科
Rinsho Shinkeigaku	[Reference values for concentric needle single fiber EMG]	Kokubun N	神経内科
J Neurol	Guillain-Barre syndrome associated with normal or exaggerated tendon reflexes	Yuki N, Kokubun N, Kuwabara S, Sekiguchi Y, Ito M, Odaka M, Hirata K, Notturmo F, Uncini	神経内科
Acta Med Okayama	Long-term effects of cabergoline and levodopa in Japanese patients with early Parkinson's disease: a 5-year prospective	Utsumi H	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Non-demyelinating, reversible conduction failure in Fisher syndrome and related disorders	Umapathi T, Tan EY, Kokubun N, Verma K, Yuki N	神経内科
Clin Neurophysiol	Reference values for voluntary and stimulated single-fibre EMG using concentric needle electrodes: a multicentre prospective study	Kokubun N, Sonoo M, Imai T, Arimura Y, Kuwabara S, Komori T, Kobayashi M, Nagashima T, Hatanaka Y, Tsuda E, Misawa S, Abe T, Arimura K	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes.	Cell-based screening identifies paroxetine as an inhibitor of diabetic endothelial dysfunction.	Gero D, Szoleczky P, Suzuki K, Modis K, Olah G, Coletta C, Szabo C.	内分泌代謝内科
J Pharmacol Sci. 2012;120(2):121-8. Epub 2012 Sep 26.	Miglitol, an anti-diabetic drug, inhibits oxidative stress-induced apoptosis and mitochondrial ROS over-production in endothelial cells by enhancement of AMP-	Aoki C, Suzuki K, Yanagi K, Satoh H, Niitani M, Aso Y.	内分泌代謝内科
Progress in Medicine	2型糖尿病治療早期におけるリラグルチドの有用性 患者満足度調査も含めて	鈴木 國弘, 田中 精一, 青木 千枝, 柳 一徳, 中野 記子, 作田 亜有子, 川越 宣明, 麻生 好正, 笠井 貴久男	内分泌代謝内科
Dokkyo Journal of Medical Sciences	当院における高カルシウム血症の病因・病態の解析と治療 高カルシウム血症クレーゼも含めて	作田 亜有子, 飯嶋 寿江, 百目木 希実, 鈴木 國弘, 加瀬 浩之, 川越 宣明, 笠井 貴久男	内分泌代謝内科
Nihon Rinsho	[Anaphylaxis]	Hirata H, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
Eur Respir J	A neutrophil elastase inhibitor prevents bleomycin-induced pulmonary fibrosis in mice	Takemasa A, Ishii Y, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
Dokkyo J Med Sci	BAL fluid concentrations of cytokines in patients with nonspecific interstitial pneumonia, usual interstitial pneumonia, collagen vascular disease associated with interstitial pneumonia, and sarcoidosis.	Fukushima F, Sugiyama K, Obara K, Hirata H, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
J Rheumatol	Detection of inflammatory lesions by f-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography in patients with polymyositis and dermatomyositis	Owada T, Maezawa R, Kurasawa K, Okada H, Arai S, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
Asia Pac Allergy	Interferon-alpha inhibits airway eosinophilia and hyperresponsiveness in an animal asthma model	Kikkawa Y, Sugiyama K, Obara K, Hirata H, Fukushima Y, Toda	呼吸器・アレルギー内科
Asia Pac Allergy	Measurement of Hymenoptera venom specific IgE by the IMMULITE 3g Allergy in subjects with negative or positive results by ImmunoCAP	Watanabe M, Hirata H, Arima M, Hayashi Y, Chibana K, Yoshida N, Ikeno Y, Fukushima Y, Komura R, Okazaki K, Sugiyama K, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
Mod Rheumatol	Reactivation of cytomegalovirus predicts poor prognosis in patients on intensive immunosuppressive treatment for collagen-vascular diseases	Hanaoka R, Kurasawa K, Maezawa R, Kumano K, Arai S, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
Asia Pac Allergy	Relationship between sensitivity to dyspnea and fluctuating peak expiratory flow rate in the absence of asthma symptoms	Kamiya K, Sugiyama K, Toda M, Soda S, Ikeda N, Fukushima F, Hirata H, Fukushima Y, Fukuda T	呼吸器・アレルギー内科
Dokkyo J Med Sci	Nonspecific Interstitial Pneumonia (NSIP) におけるステロイド治療反応性規程因子の検討.	降旗友恵, 石井芳樹, 福田健	呼吸器・アレルギー内科
日本皮膚科学会雑誌	Wegener肉芽腫症の1例	小池 佑美, 林 周次郎, 小池 真美, 五月 女 聡浩, 濱咲 千子, 濱崎 洋一郎, 山崎 雙次, 篠持 淳, 前澤 玲華	呼吸器・アレルギー内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
アレルギー・免疫	アラスタット3g Allergyの臨床的有用性に関する検討ー第1報ー多施設共同研究による評価(内科・耳鼻咽喉科における検討).	秋山一男, 長谷川眞紀, 福田 健, 平田博国, 大久保公裕, 後藤 穰, 榎本雅夫, 竹内裕美, 出原賢治, 川崎誠司, 宮本昭正	呼吸器・アレルギー内科
アレルギー・免疫	気管支喘息に対するサルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステルドライパウダーインヘラー(アドエア ディスカス)の使用成績調査(最終報告)	福田 健, 藪内 美穂子, 森岡 依子, 原 輝文	呼吸器・アレルギー内科
Dokkyo J Med Sci	結核性胸膜炎の診断における局所麻酔下胸腔鏡検査の有用性に関する検討.	三好祐顕, 福島史哉, 滝澤秀典, 武政聡浩, 石井芳樹, 福倉持 益枝, 加地さとみ, 西川 聡一, 藤平 尚弘, 福田 一絵, 小池 雅人, 北村 洋平, 嶋岡 弥生, 鈴木利宏, 濱崎 洋一郎, 旗持 淳, 山崎 雙次, 前澤 玲華	呼吸器・アレルギー内科
日本皮膚科学会雑誌	抗凝固療法中、大腿部皮下血腫を生じ貧血をきたした1例	山崎 龍太郎, 前澤 玲華, 永澤 潤哉, 岡田 春告, 新井 聡子, 大和田 高義, 倉沢 和宏, 福田 健, 花岡 亮輔	呼吸器・アレルギー内科
関東リウマチ	妊娠15週でHELLP症候群様の病態を呈した抗リン脂質抗体症候群合併SLEの一例	新井良, 石井芳樹, 端みつ美, 福田健	呼吸器・アレルギー内科
日本呼吸器学会誌	肺癌における末梢血樹状細胞への脂質集積.	Tamaki Y, Sasaki R, Ejima Y, Ogura M, Negoro Y, Nakajima T, Murakami M, Kaji Y, Sugimura K	放射線医学
J Radiat Res	Efficacy of intraoperative radiotherapy targeted to the abdominal lymph node area in patients with esophageal carcinoma.	Yoshida R, Arakawa H, Kaji Y	放射線医学
AJR Am J Roentgenol	Lung cancer in chronic interstitial pneumonia: early manifestation from serial CT	Kogai T, Liu YY, Mody K, Shamsian DV, Brent GA	感染制御・臨床検査医学
J Biol Chem	Regulation of sodium iodide symporter gene expression by Rac1/p38beta mitogen-activated protein kinase signaling pathway in MCF-7 breast cancer cells	Kahara T, Igarashi N, Hishinuma A, Nakanishi Y, Uchiyama A, Miwa A, Ishizawa S, Yamamoto Y, Noto H, Sumiya H, Ishikura K, Usuda R,	感染制御・臨床検査医学
Case Rep Endocrinol	Thyroglobulin gene mutation with cold nodule on thyroid scintigraphy	Liu YY, Kogai T, Schultz JJ, Mody K, Brent GA	感染制御・臨床検査医学
Journal of Biological Chemistry	Thyroid hormone receptor isoform-specific modification by small ubiquitin-like modifier (SUMO) modulates thyroid hormone-dependent gene regulation	山口 惠三, 他	感染制御・臨床検査医学
The Japanese Journal of Antibiotics	2010年に全国72施設の臨床材料から分離された12,866株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス	田中 一世, 堀内 裕次, 中尾 美佐子, 屋代 剛典, 鷹箸 孝一, 池田 真由美, 及川 信次, 沼部 敦司, 菱沼 昭	感染制御・臨床検査医学
医療と検査機器・試薬	Eテスト「TOSOH」IIIトロポニンI改良試薬の評価	堀内 裕次, 増淵 純一, 田中 一世, 屋代 剛典, 今野 幸浩, 鷹箸 孝一, 及川 信次, 菱沼 昭	感染制御・臨床検査医学
医学検査	新規尿添加剤ユリメジャー・タブレットの生化学検査およびC-ペプチド検査への影響		

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
医療と検査機器・試薬	全自動尿統合分析装置AUTION HYBRID AU-4050の評価	秋山 英治, 堀内 裕次, 浅田 道治, 田中 光昭, 池田 眞由美, 及川 信次, 沼部 敦司, 菱沼 昭	感染制御・臨床検査医学
Epilepsia	Acute encephalopathy in children with Dravet syndrome	Okumura A, Uematu M, Imataka G, Tanaka M, Okanishi T, Kubota T, Sudo A, Tohyama J, Tsuji M, Ohmori I, Naiki M, Hirakawa-Sofue A, Sato H, Saitoh S, Shimizu T	小児科学
Cell Biochemistry and Biophysics	Better prognosis in newborns with Trisomy 13 who received intensive treatments: A retrospective study on 16 patients	Tsukada K, Imataka G, Suzumura H, Arisaka O (Corresponding author: Imataka G)	小児科学
Lancet	Efficacy of immunoglobulin plus prednisolone for prevention of coronary artery abnormalities in severe Kawasaki disease (RAISE study): a randomised, open-label, blinded-endpoints trial	Kobayashi T, Saji T, Otani T, Takeuchi K, Nakamura T, Arakawa H, Kato T, Hara T, Hamaoka K, Ogawa S, Miura M, Nomura Y, Fuse S, Ichida F, Seki M, Fukazawa R, Ogawa C, Furuno K, Tokunaga H, Takatsuki S, Hara	小児科
Am Surg	Body mass index is a risk factor of pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy	Shimoda M, Katoh M, Yukihiro I, Kita J, Sawada T, Kubota K	第二外科
World J Gastroenterol	Edaravone inhibits apoptosis caused by ischemia/reperfusion injury in a porcine hepatectomy model	Shimoda M, Iwasaki Y, Okada T, Kubota K	第二外科
Anticancer Res	Effect of menatetrenone, a vitamin k2 analog, on recurrence of hepatocellular carcinoma after surgical resection: a prospective randomized controlled trial	Ishizuka M, Kubota K, Shimoda M, Kita J, Kato M, Park KH, Shiraki T	第二外科
Am J Surg	Impact of an inflammation-based prognostic system on patients undergoing surgery for hepatocellular carcinoma: a retrospective study of 398 Japanese patients	Ishizuka M, Kubota K, Kita J, Shimoda M, Kato M, Sawada T	第二外科
Hepatogastroenterology	Impact of grading of liver metastasis on postoperative outcome in patients with liver metastases from colorectal cancer	Ishizuka M, Kita J, Shimoda M, Kato M, Sawada T, Kubota K	第二外科
Hepatogastroenterology	Intraoperative observation using a fluorescence imaging instrument during hepatic resection for liver metastasis from	Ishizuka M, Kubota K, Kita J, Shimoda M, Kato M, Sawada T	第二外科
World J Surg	Surgical inflammation induces hepcidin production after abdominal surgery	Park KH, Sawada T, Kosuge T, Kita J, Shimoda M, Tomosugi N, Kubota	第二外科
Case Rep Surg	Surgical Ligation of Extrahepatic Shunt under Guidance of Doppler Ultrasound, Portography, and Portal Pressure Monitoring	Shimoda M, Shimizu T, Kubota K	第二外科
Auris Nasus Larynx	Long-term evaluation after endoscopic sinus surgery for chronic pediatric sinusitis with polyps.	Tsukidate T, Haruna S, Fukami S, Nakajima I, Konno W, Moriyama H	耳鼻咽喉・頭頸部外科
耳鼻咽喉科展望	眼窩内および鼻副鼻腔IgG4関連疾患の1例	山川 秀致, 月館 利治, 今野 涉, 穠吉 亮平, 平林 秀樹, 春名 眞一	耳鼻咽喉・頭頸部科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本鼻科学会誌	鼻腔通気度検査と音響鼻腔計測検査を用いた内視鏡下福鼻腔手術の術後評価	竹内裕美, 加瀬康弘, 内藤健晴, 堀部晴司, 大木幹文, 岡本牧人, 竹内万彦, 千葉伸太郎, 中島逸男, 片田彰博	耳鼻咽喉・頭頸部外科学
日本血管外科学会雑誌	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術および人工血管置換術の術後腎機能に及ぼす影響に関する検討	井上有方, 福田宏嗣, 吉龍正雄, 山田靖之, 柴崎郁子, 桑田俊之, 堀貴行, 小川博永, 土屋豪, 清水理葉	心臓・血管外科
Hip Joint	BHA後20年でアウターヘッド周囲に広範性骨溶解をきたした1例	富沢一生, 阿久津みわ, 野原裕	整形外科
栃木県整形外科医会誌	Trigger wristを呈した腱鞘巨細胞腫の1例.	山口雄史, 長田伝重, 高井盛光, 亀田正裕, 山本格, 玉井和哉, 野原裕	整形外科
肩関節	上腕骨近位骨密度と他部位骨密度の比較	矢野雄一郎, 玉井和哉, 吉川勝久, 大江真人, 野原裕	整形外科
日本脊髄障害医学会雑誌	脊損治療の医療経済に関する多施設共同研究	種市洋, 須田浩太, 芝啓一郎, 塩田匡宣, 古閑博明, 坂井宏旭	整形外科
肩関節	前挙・肩甲骨面挙上・外転における上腕外旋角度の比較	矢野雄一郎, 玉井和哉, 浜田純一郎, 吉崎邦夫, 佐原亮	整形外科
臨床眼科	YAGレーザーによる眼内レンズ損傷の視機能に対する影響	「並木滋土」「松島博之」「勝木陽子」「日高次郎」「向井公一郎」「妹尾正」	眼科
アレルギーの臨床	アトピー白内障	「鈴木重成」「須田雄三」	眼科
眼科手術	フェムトセカンドレーザー白内障手術	「松島博之」「後藤憲仁」	眼科
日本眼科学会雑誌	各種生体接着剤の角膜裂傷への応用	「大沼恵理」「向井公一郎」「寺田理」「千葉桂三」「石井康雄」「妹尾正」	眼科
日本白内障学会誌	眼内レンズ偏位、前囊収縮および後発白内障の解析	永田万由美	眼科
臨床眼科	眼内レンズ縫着術(ab externo法)におけるポケットフラップ埋没法の効果	[松島博之][並木滋人][塙本幸][妹尾	眼科
IOL & RS	硬い核(G4~5)	松島博之	眼科
眼科	深層層状角膜移植(DALK)による内皮温存	妹尾正	眼科
眼科手術	摘出眼内レンズの解析	松島博之	眼科
慢性疼痛	当院におけるブプレノルフィン貼付剤(BTDS)を用いた運動器慢性痛の治療経験	矢崎美和, 濱口眞輔, 根本興平, 藤岡照久, 松澤理恵, 塚田妹子, 山口重樹	麻酔科
日本口腔外科学会雑誌	5-FUに起因した高アンモニア血症をきたした舌癌の1例	土肥豊, 越路千佳子, 泉さや香, 麻野和宏, 川又均, 今井	口腔外科
Internal Medicine	Postpartum Migranes: A Long-term Prospective Study.	Eisei Hoshiyama, Muneto Tatsumoto, Hisatake Iwanami, Akihiro Saisu, Hiroshi Watanabe, Noriyuki Inaba,	総合周産期母子医療センター
日本磁気共鳴医学会雑誌	胎児MRIにおける脳室拡大: 非中枢神経奇形の合併について	桑島成子, 楫靖, 渡辺博, 鈴村宏	総合周産期母子医療センター
ムチン沈着症	皮膚疾患最新の治療2013-2014	篠持淳, 瀧川雅浩, 渡辺晋一	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚科臨床アセット14	肉芽腫性皮膚疾患。(サルコイドーシス・他の肉芽腫)	古江増隆, 岡本裕之	皮膚科
皮膚潰瘍 a. 皮膚科的治療	ウェルナー症候群の診断・診療ガイドライン 2012年版	嶋岡弥生, 横手幸太郎	皮膚科
【耳鼻咽喉科における病巣感染症up date-扁桃・副鼻腔疾患を中心	皮膚科からみた掌蹠膿疱症と病巣感染症	林 周次郎, 箕持 淳	皮膚科
J Dermatol Sci. 67 : 20-25, 2012	UVA irradiation following treatment with topical 8-methoxypsoralen improves bleomycin-induced scleroderma in a mouse model, by reducing the collagen content and collagen gene expression levels in	Hayashi S, Ikeda M, Kitamura Y, Hamasaki Y, Hatamochi A	皮膚科
J Dermatol. 40 : 226-228, 2013	Patient with the vascular type of Ehlers-Danlos Syndrome, with a novel point-mutation in the COL3A1 gene	Z. Shimaoka Y, Hayashi S, Hamasaki Y, Terui K, Hatamochi A	皮膚科
J Med Case Rep. 7 : 35, 2013. DOI : 10.1186/1752-1947-7-35.	Vascular-type Ehlers-Danlos syndrome caused by a hitherto unknown genetic mutation : a case report.	Kashizaki F, Hatamochi A, Misumi Y, Sato A, Yamaguchi Y, Ishii M, Shimokawa T, Hida N, Okamoto H	皮膚科
doi : 10.1016/j.genhosppsy.ch.2012.03.013.	Lung transplantation in a Japanese patient with schizophrenia from brain-dead donor. General Hospital Psychiatry	Okayasu H, Ozeki Y, Chida M, Miyoshi S, Shimoda K	精神神経医学
DOI: 10.1055/s-0032-1308969	Pharmachotherapeutic determinants for QTc interval prolongation in Japanese patients with mood disorder Pharmacopsychiatry 45:279-83, 2012	Okayasu H, Ozeki Y, Fujii K, Takano Y, Saeki Y, Hori H, Horie M, Higuchi T, Kunugi H, Shimoda, K	精神神経医学
Transl Psychiatry. 22;2:e119 2012	13C-phenylalanine breath test detects altered phenylalanine kinetics in schizophrenia patients	Teraishi T, Ozeki Y, Hori H, Sasayama D, Chiba S, Yamamoto N, Tanaka H, Iijima Y, Matsuo J, Kawamoto Y, Kinoshita Y, Hattori K, Ota M, Kajiwara M, Terada S, Higuchi T,	精神神経医学
Psychiatric Genetics(in press) DOI: 10.1097/YPG.0b013e32836130a9	An association study of the Hermansky-Pudlak syndrome type 4 gene in schizophrenia patients	Saito A, Kuratomi G, Ito C, Matsuoka H, Suzuki T, Ozeki Y, Watanabe T, Fujii K, Shimoda K, Fukushima Y, Inukai T, Ohmori K, Akiyama K	精神神経医学
In: Panic Disorder: Symptoms, Treatment and Prevention, Nova Science Publishers, Inc., PP79-PP96,	Pharmacokinetic and pharmacogenetic factors affecting the initial therapeutic effect of selective serotonin reuptake inhibitor in panic disorder	Watanabe T, Ishiguro S, Ueda M, Saeki Y, Hayashi Y, Shimoda, K	精神神経医学
J Med Ultrasonics	Phase II clinical study of DD-723 (perflubutane): dose-response study in patients with breast tumors	Yukio Miyamoto, Toshikazu Ito, Etsuo Takada, Kiyoka Omoto, Toshiko Hirai, Ryuzo Sekiguchi, Toshitaka Okuno, Shinsaku Kanazawa, Norio Nakata, Takao Igarashi	第一外科
Japanese Journal of Endourology	直腸癌自律神経温存手術における神経叢の同定と手技	椿昌裕、藤田昌紀、加藤広行	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pathobiology	Clinicopathological Features of Serrated Adenocarcinoma Defined by Makinen in Dukes' B Colorectal Carcinoma	Yosuke Simada, Takahiro Fujimori, Hiroyuki Tanaka, Yukari Fujimori, Ryusuke Kimura, Hirofumi Ueda, Kazuhiro Ichikawa, Shigeki Tomita, Hitoshi Nagata, Keiichi Kubota, Masahiro Tsubaki, Hiroyuki Kato, Takashi Yao, Tamotsu Sugai, Kenichi Sugihara, Yasuo Ohkura, Johji Imura	第一外科
コンセンサス癌治療	2. 食道癌の最新の診断 (2) 進行癌の診断	加藤博行、百目木泰、中島政信	第一外科
Asian Journal of Surgery	Use of the modified double-stapling technique with vertical division of the rectum during a sphincter-preserving operation for the treatment of a rectal tumor	Masahiro Tsubaki, Yuichi Ito, Masanori Fujita, Hiroyuki Kato	第一外科
Journal of Surgical Research	Ghrelin Level and Body Weight Loss After Esophagectomy for Esophageal Cancer	Tatsuya Miyazaki, Naritaka Tanaka, Hanako Hirai, Takehiko Yokobori, Akihiko Sano, Makoto Sakai, Takanori Inose, Makoto Sohda, Masanobu Nakajima, Minoru Fukuchi, Hiroyuki Kato, Hiroyuki Kuwano	第一外科
消化器内視鏡	LHP (large hyperplastic polyp) と SSA/P は同じか-増殖能からみて-	志田陽介、山口岳史、加藤広行、岡本洋祐、田形倫子、藤盛友佳理、木村隆輔、藤盛孝博、藤井隆広、佐野寧、菅井有、八尾隆史、大倉康男、有田宗史、田中宏幸、安田是和	第一外科
Journal of Medical Ultrasonics	Transmission electron microscopy study on the effects of the ultrasound contrast agent Levovist on hepatic cells	Etsuo Takada, Nobuki Kudo, Nobuyuki Endoh, Hiroyuki Hachiya, Shin-ichi Takeuchi, Takenobu Tsuchiya, Michiya Natori	第一外科
消化器内視鏡	知ってますか! SSA/P とその癌化 SAC の臨床病理	藤盛孝博、市川一仁、富田茂樹、志田陽介、山口岳史、加藤広行、尾田恭	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology Reports	CD47 expression regulated by the miR-133a tumor suppressor is a novel prognostic marker in esophageal squamous cell carcinoma	Suzuki S, Yokobori T, Tanaka N, Sakai M, Sano A, Inose T, Sohda M, Nakajima M, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H	第一外科
胸部外科	食道癌手術における頸部郭清法	加藤広行	第一外科
大腸癌 FRONTIER	大腸癌顕微鏡アトラス 鋸歯状腺癌	志田陽介、加藤広行	第一外科
Esophagus	Salvage therapy for recurrence after a curative operation for esophageal squamous cell carcinoma	Michio Sato, Naritaka Tanaka, Tatsuya Miyazaki, Daigo Ozawa, Shigemasa Suzuki, Takehiko Yokobori, Takanori Inose, Makoto Sohda, Masanobu Nakajima, Hiroyuki Kato, Hiroyuki Kuwano	第一外科
Surgery Today	Effects of a proton pump inhibitor on the physiological accumulation of fluoro-2-deoxy-d-glucose (FDG) in FDG-prosiron emission tomography	Yasushi Domeki, Erena Yamazaki, Akira Matsuura, Kazuhiro Kitajima, Koji Murakami, Hiroyuki Kato	第一外科
Annals of Thoracic Cardiovascular Surgery	The Efficacy of FDG-PET for the Management of Esophageal Cancer: Review Article	Hiroyuki Kato, Masanobu Nakajima	第一外科
消化器内視鏡	Crohn病に回腸癌を併発した1例	秋元直彦、山口岳史、尾形英生、志田陽介、小林俊介、岡本陽祐、大竹陽介、富田茂樹、市川一仁、内藤善哉、加藤広行、坂本長逸、藤盛孝博	第一外科
Hepatogastroenterology	CD24 Expression is Associated with Progression of Gastric Cancer	Takahashi M, Nakajima M, Ogata H, Domeki Y, Ohtsuka K, Ihara K, Kurayama E, Yamaguchi S, Sasaki K, Miyachi K, Kato H.	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
MOLECULAR AND CLINICAL ONCOLOGY	Differentiation between sessile serrated adenoma/polyp and non-sessile serrated adenoma/polyp in large hyperplastic polyp: A Japanese collaborative study	YOSUKE SHIDA, KAZUHITO ICHIKAWA, TAKAHIRO FUJIMORI, YUKARI FUJIMORI, SHIGEKI TOMITA, TAKAHIRO FUJII, YASUSHI SANO, YASUSHI ODA, HIDEYO GOTO, AKIHIKO OHTA, SHINJI TANAKA, TAMOTSU SUGAI, TAKASHI YAO, YASUO OHKURA, JOHJI IMURA and HIROYUKI KATO	第一外科
Cancer Sci	MiR-150 regulates the EMT-inducer ZEB1 in esophageal squamous cell carcinoma. Wound healing assays of premiR-150-treated esophageal squamous cell carcinoma TE-8 cells	Suzuki S, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Sano A, Sakai M, Nakajima M, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H	第一外科
Cancer Science	MiR-150 is associated with poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma via targeting the EMT inducer ZEB1	Suzuki S, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Sano A, Sakai M, Nakajima M, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H	第一外科
Cancer Science	MiR-150 is associated with poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma via targeting the EMT inducers ZEB1	Suzuki S, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Sano A, Sakai M, Nakajima M, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H	第一外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Fifteen-year survey of one-stage latissimus dorsi muscle transfer for treatment of longstanding facial paralysis.	Takushima A, Harii K, Asato H, Kurita M, Shiraishi T	形成外科
Plast Reconstr Surg	Free Omental flap for partial breast reconstruction after breast-conserving surgery.	Zaha H., Onomura M., Nomura H., Umekawa K., Oki M., Asato H	形成外科
J Plast Surg Hand Surg	Oral antithrombotic treatment and postoperative thrombotic complications after head and neck reconstruction using free flaps.	Okochi M, Okazaki M, Asato H	形成外科
外科	乳房再建術 I - 皮膚拡張器を用いた一次再建を中心に -	野村紘史, 朝戸裕貴, 加地展之, 梅川浩平, 沖正直, 渡邊未来子, 上野紫穂, 渡邊武夫	形成外科
PEPERS	イチから始めるマイクロサージャリー-マイクロサージャリーの機器	朝戸裕貴	形成外科
放射線潰瘍. 形成外科	慢性創傷治療の理論と実際	梅川浩平, 朝戸裕貴	形成外科
都耳鼻会報	両側小耳症・外耳道閉鎖症に対する手術-2つの耳の形と機能を再建する-	加我君孝, 竹腰英樹, 加地展之, 朝戸裕貴	形成外科
チャイルドヘルス	片側小耳症と両側小耳症の新しい手術~耳の形態と機能の再建手術~	朝戸裕貴	形成外科

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 野原 裕							
管理担当者氏名	庶務課	高橋 三千男	医事保険課	渡邊 栄	診療記録管理部	中林 泰信	医療安全推進センター	五月女 弘実
	総合医療連携室	麻生 保	感染制御センター	白川 幸央	経理課	篠原 尚	薬剤部	越川 千秋

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課 医事保険課 診療記録管理部 薬剤部 手術部	カルテ、エックス線写真とも入院・外来を含む1患者1ファイル方式として管理している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	
	高度の医療の提供の実績	医事保険課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事保険課	
	高度の医療の研修の実績	庶務課	
	閲覧実績	庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	総合医療連携室 医事保険課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事保険課 薬剤部		
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進センター	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御センター	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進センター	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進センター	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進センター	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進センター	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進センター	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進センター	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター
		従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	経理課
		従業員に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経理課
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経理課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 堀 源
閲覧担当者氏名	事務部次長兼庶務課長 高橋 三千男
閲覧の求めに応じる場所	事務部

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	63.5 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,458	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,610	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	4,393	人
	D: 初診の患者の数	45,913	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	○有・無
<p>・指針の主な内容：①安全管理に関する基本的な考え方 ②医療安全管理委員会・その他の組織に関すること ③医療に係る安全管理のための職員研修に関すること ④事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関すること ⑤医療事故発生時の対応に関すること ⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関すること ⑦患者からの相談への対応に関すること ⑧その他医療安全の推進のために必要なこと</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・活動の主な内容：①医療安全対策の検討及び研究に関すること ②医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること ③医療安全対策のための職員に対する指示に関すること ④医療安全対策のために行う提言に関すること ⑤医療事故防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること ⑥安全パトロール ⑦その他医療安全対策に関すること</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・研修の主な内容：○オリエンテーション 開催日：①平成 24 年 4 月 2 日 (月) 午後 2 時 40 分から 3 時 40 分 (対象者：平成 24 年度新入教職員・・・医療従事者等) ②平成 24 年 4 月 3 日 (火) 午後 2 時 40 分から 3 時 30 分 (対象者：平成 24 年度新入看護師) ③平成 24 年 4 月 5 日 (木) 午前 9 時 30 分から 10 時 30 分 (対象者：平成 24 年度新臨床研修医) ④平成 24 年 4 月 10 日 (火) 午後 0 時から午後 0 時 40 分 (対象者：平成 24 年度大学院生) 形 態：講習会 講 師：①医療安全推進センター 安全管理者 渡辺いつ子</p>	

②医療安全推進センター 課長 五月女 弘実

演 題：①「当院での医療安全の取り組みについて」

②「当院における個人情報保護について」

内 容：「当院の医療安全体制」並びに「当院の個人情報保護」について解説がなされた。

参加者：①196名

②196名

○第1回 開催日：平成24年4月12日（木）

午後5時から午後6時

形 態：講習会

講 師：テルモ株式会社 営業開発学術チーム 山本 由希 先生

演 題：「セーフティマネジメント～医療事故防止への取り組み～」

内 容：「リスクマネジメントに係る用語」、「原因指向の考え方で事故防止に向けての取り組み方法」について解説がなされた。

参加者：一般教職員863名

○第2回 開催日：平成24年6月20日（水）

午後5時から午後6時30分

形 態：講習会

講 師：①栄養部 主任 大石 比奈子 氏

②RIセンター 放射線管理部 高橋 克彦 氏

③RIセンター長 楫 靖 先生

演 題：①「食の安全性について」患者食を例に

②「食品中の放射線物質の新たな基準値について」

③「放射線診療におけるインフォームドコンセントを考える」

内 容：福島第一原発に対する放射線の正しい知識について解説がなされた。

参加者：751名

○第3回 開催日：平成24年8月29日（水）

午後5時から6時

形 態：講習会

講 師：麻酔科学教授 山口 重樹 先生

演 題：「医療用麻薬の適正使用について」

内 容：麻薬鎮痛薬の適正な使用について解説がなされた。

参加者：636名

○第4回 開催日：①平成24年9月11日（火）午後5時から午後6時

②平成24年9月12日（水）午後5時から午後6時

形態：実技講習会

講師：救命医学 学内准教授 松島 久雄 先生

演題：「院内パドル式除細動器の安全使用について」

内容：院内パドル式除細動器の安全な操作方法について、実技を通して解説がなされた。

参加者：①37名

②33名

○第5回 開催日：平成24年9月28日（金）

午後5時から午後6時30分

形態：講習会

講師：①東京医科歯科大学院医歯学総合研究科

医療政策学講座政策科学分野 岡本 佐和子 先生

②株式会社ティズム代表取締役 近田 美季子 先生

演題：①「医療安全とコミュニケーション」

②「マインドマップの活用について」

内容：患者と医療者のコミュニケーションの違いによる問題解決の対応について解説がなされた。

参加者：303名

○第6回 開催日：平成24年10月9日（火）

午後5時15分から午後6時30分

形態：講習会

講師：①放射線部 副技師長 小黒 清 氏

②循環器内科 学内准教授 長田 太助 先生

演題：「放射線部検査を安全に行う」

①「安全なMRI検査のために」

②「造影剤腎症予防のために知っておきたいこと」

内容：放射線検査における知識・技術について解説がなされた。

参加者：329名

○第7回 開催日：平成24年12月20日（木）

午後5時10分から6時10分

形態：講習会

講 師：桐生厚生総合病院 中央検査部 技師長 梶田 幸夫 先生
演 題：「輸血用血液製剤の取り扱い（安全な輸血医療への取り組み）」
内 容：輸血の安全対策と輸血事故発生時の対応についての解説がなされた。
参加者：399名

○第8回 開催日：①平成25年3月15日（金）午後5時から午後6時30分
②平成25年3月18日（月）午後5時から午後6時30分

形 態：講習会

講 師：リスクマネジャー委員会委員

演 題：「平成24年度リスクマネジャー小委員会における活動内容報告会」

内 容：各リスクマネジャー小委員会の年間活動内容及び検証結果について
発表した。

参加者：①283名

②233名 計516名

○第9回 開催日：平成25年3月29日（金）午後5時30分から午後7時20分

形 態：講習会

講 師：福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 教授 大津留 昌 先生

演 題：「放射線と健康リスク～原発事故の現状と取り組み」

内 容：福島県立医科大学としての原発事故後の現状と取り組みの説明が
あった。

参加者：97名

○ビデオ視聴会

形 態：医療安全推進課管理ビデオ視聴会

視聴者数：751名

○看護部1年目研修会

開催日：平成24年9月24日（月）

午後5時から午後6時30分

形 態：講習会

講 師：医療安全推進センター 安全管理者 辰元 宗人 先生

演 題：「マインドマップを使った医療安全」

内 容：マインドマップを使用しどこの部分でインシデントが起こるか考える
思考が整理され発想力が向上するさまざまな能力を高めることができ
る使い方の解説がなされた。

参加者：109名

<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関内における事故報告等の整備 (○有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師が患者を訪室するが不在。10分後、訪室するが不在。トイレで呼名するも返答なし。この際1つのトイレの鍵がかかっていた。他のスタッフへみかけてないか確認、不在でありみかけたら知らせてほしいことを伝達した。 30分後、再度訪室するが不在。トイレで呼名し返答なし。先程のトイレは鍵がかかっており返答ないため確認すると便座にもたれかかるように倒れているのを発見した。本事例について、トイレは施錠された状態であり、開錠方法を知りことも再発防止対策の1つであると考え、患者所在が不明でトイレに鍵がかかっていた場合 <ol style="list-style-type: none"> ①名前を呼ぶ ②返答がない場合、ノックして名前を呼ぶ。それでも返事がない場合、「開けます」と声をかけて鍵でドアを開ける。 上記、トイレ捜索手順を周知徹底した。 	
<p>⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況</p>	<p>○有 (1名) ・無</p>
<p>⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<p>○有 (1名) ・無</p>
<p>⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況</p>	<p>○有・無</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員： 専任 (6) 名 兼任 (3) 名 ・活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ①インシデント・アクシデント情報の収集・分析と改善案の立案に関すること ②医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること ③事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと ④患者や家族への説明等事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと ⑤事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと ⑥医療安全に係る連絡調整に関すること ⑦その他医療安全の推進に関すること 	

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の
確保状況

○有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<p>制定日：平成 19年10月 1日 改訂日：平成 24年 1月18日</p> <p>【指針の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内感染防止対策に関する基本的な考え方・ 院内感染防止対策委員会・その他の組織に関する基本的事項・ 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針・ 感染事例報告などの医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針・ 施設内感染事例発生時の対応に関する基本方針・ 患者に対する当該指針の閲覧に関する基本方針・ 患者からの相談への対応に関する基本方針・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内ラウンドの報告・ 病原体の検出報告 (MRSA、緑膿菌、血液培養陽性、薬剤耐性菌等)・ 感染症治療薬使用状況 (毎月の抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬、第4世代セフェム系抗菌薬及び抗真菌薬)・ 感染症発生報告・ その他	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○新入職者オリエンテーション (平成25年度4月採用予定者)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日程及び内容： 3/15 (金)場 所：教室棟 138番教室講 師：岡本 友紀 氏 (臨床検査センター副主任、感染制御センター兼務)受講数：141名 <p>○研修医オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日程及び内容： 4/8(月) 9:00~12:00 講義「病院感染の重要な病原微生物学」4/9(火) 9:00~12:00 演習「手指衛生・PPE装着脱・フィットテスト」4/11(木)9:00~12:00 手指衛生実習の効果と判定、グループ討議講義「手の衛生について」講義「感染症診療」「針刺し」「届出」・ 場 所：臨床研修センター大会議室・ 講 師：微生物学講座、感染制御センタースタッフ等・ 受 講 数：41名 <p>○新規採用者オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日程及び内容： 対 象 者：医師 (後期研修医含)、医療従事者、事務など日 程：採用月に30分程度実施場 所：病院 3階中会議室No.2、他内 容：講義「医療施設内での感染拡大を防ぐ」	

講 師：岡本 友紀 氏（臨床検査センター副主任、感染制御センター兼務）
受 講 数：医師 27名、医療従事者・事務など 21名

対象者：看護師
日 程：平成 24 年 4 月 12 日（木）13:10～16:30
場 所：病院 3 階大会議室
内 容：手洗い・手指消毒・PPE・N95マスクフィットテスト
針刺し事故・ゴミの分別に関する講義および演習
担 当 者：大関京子、野沢三枝子、平野正江、栃木茂子、早川千亜紀
亀田幸恵（以上、看護部 ICT）

○院内感染防止対策講習会（全教職員対象）

- ・ 第 1 回：『 外科系感染症の管理と治療 』
日 時：5 / 8（火） 17:00～18:00
場 所：関湊記念ホール
講 師：草地 信也 先生（東邦大学医療センター大橋病院 外科・がんセンター 教授）
受 講 数： 736名

- ・ 第 2 回：『 腸管感染症の診断と治療 』
日 時：8 / 7（火） 17:30～18:40
場 所：関湊記念ホール
講 師：立川 夏夫 先生（横浜州市市民病院 感染症内科長）
受 講 数： 837名

- ・ 第 3 回：『 感染対策に必要なポイント 』
日 時：11 / 15（木） 17:00～18:00
場 所：関湊記念ホール
受 講 数： 858名
講演①内 容：「正しい検体採取について」
講 師： 岡本 友紀氏（臨床検査センター副主任、感染制御センター兼務）
講演②内 容：「薬剤血中濃度のコツと相互作用のポイント」
講 師： 星野 浩一氏（薬剤部 薬剤師）

- ・ 第 4 回：『 いまさら聞けないRSウイルス感染症 』
日 時：12 / 21（金） 17:00～18:00
場 所：関湊記念ホール
講 師：鈴木 宏 先生（小児科学 学内准教授）
受 講 数： 724名

- ・ 第 5 回：『 この冬に注目される呼吸器感染症 』
日 時：1 / 10（木） 17:00～18:00
場 所：関湊記念ホール
講 師：福島 啓太郎先生（小児科学 講師）
受 講 数： 523名

- ・ 第 6 回：『 ICT活動報告会 』
日 時：3 / 14（木） 17:00～18:00
場 所：関湊記念ホール
受 講 数： 295名
発表①内 容：「外来看護師における手指消毒の現状と使用率向上の取り組み」
発表者： 加藤 景子氏（看護部・外来系 看護師）
発表②内 容：「速乾性擦式消毒アルコール製剤の個人携帯がMRSA陽性率に与えた影響」
発表者： 山崎 晃代氏（看護部・未熟児室 看護師）
発表③内 容：「院内発生事例について」
発表者： 香取 三奈氏（看護部・小児科 看護師：ICN）
発表④内 容：「大型恒温槽を導入しての効果」
発表者： 島田 江津子氏（日光医療センター看護部 師長）

○ビデオ視聴会

視聴者数： 671名

○部署別講習会

・委託業者対象講習会

日時：8/27(月)、8/28(火)、8/30(木)
10:30~17:00の間で、1回30分を数回にわけて開催

場所：センター棟4階大会議室

講師：栃木茂子氏、早川千亜紀氏、松浦美和氏、浅野有美子氏
(看護部ICT)

受講数：302名

内容：講義及び実習「手洗い・手指消毒について」

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

臨床検査センターは、感染症起因菌検出時に主治医及び感染制御センターへその都度報告する。感染制御センターから事務部(医事保険課)へ連絡し、事務部(医事保険課)ではその感染症の届出を要するものについて、主治医が未提出の場合、主治医に催促することとなっている。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
研修の主な内容：①②静脈注射を安全に実施するために必要な注射剤の知識 ③医療用麻薬の適正使用について —オキシコドン製剤が発売となったことを受けてさらなる適正使用の推進を図る—	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (○有・無) ・ 業務の主な内容：医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の供給、外来患者への医薬品使用、在宅患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用、医薬品情報の収集・管理・提供、手術・麻酔部門、救命救急センター及び集中治療室、輸血・血液管理部門、生命維持管理装置領域、臨床検査部門、画像診断部門、歯科領域、他施設との連携、事故発生時の対応、教育・研修。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① 化学療法のレジメン登録を行った。 ② 処方歴を確認（照会）する画面で間違いやすいボタンの配置であったものを改善した。 ③ 手順書にハイリスク薬の管理を追加した。 ④ 当院のハイリスク薬一覧表を作成するとともに投与時に注意する事項を定めた。	

(様式13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年25回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全対策講習会（除細動器）2回臨床工学部による病棟単位の人工呼吸器勉強会（取扱説明等）11回臨床工学部による人工心肺装置及び補助循環装置勉強会（取扱説明等）2回臨床工学部による血液浄化装置勉強会（取扱説明等）2回製造販売業者による閉鎖式保育器研修会（取扱説明等）2回製造販売業者による診療用高エネルギー放射線発生装置勉強会（取扱説明等）4回製造販売業者による診療用放射線照射装置勉強会（取扱説明等）2回	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (○有・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">保守点検記録表に基づく点検の実施保守点検記録表の保管・管理	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療機器の安全使用のために必要な不具合情報や安全性情報を、製造販売業者等から収集し、病院長及び医療機器安全管理責任者へ報告するとともに、関連部署へ周知徹底医療機器の添付文書・取扱説明書等の保管・管理	